

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0905	曜日時間	通年
授業科目	母性看護学実習						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	森岡 弓恵						
授業目的	周産期にある女性・子どもとその家族を看護の対象とし、対象が健康を維持・増進し新しい役割を獲得していくために必要な看護について学ぶ。						
中核	命の誕生を支える援助						
授業目標	1. 妊産褥期及び新生児期にある対象とその家族を理解する。 2. 妊産褥期及び新生児期にある対象とその家族に適した看護が実践できる。 3. 地域社会における保健・医療・福祉との連携、継続看護における看護の役割・責任について理解することができる。 4. 対象や家族との関わりの中で、生命の尊厳や自己の母性・父性の意識を深めることができる。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日間	オリエンテーション ・病院・保健センターにおける留意点 ・記録指導 ・個別指導	講義演習	(8)	森岡弓恵	事前学習も含めて問題意識をもつ	
		1. 妊娠期における看護の役割 ・妊娠の生理 妊婦と胎児のアセスメント ・新しい家族を迎える妊婦と家族の心理・社会的変化と看護 ・妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント 2. 分娩期における看護の役割 ・分娩の生理 産婦と胎児のアセスメント ・産婦のニーズ・家族の心理 3. 産褥期における看護の役割 ・産褥の生理 褥婦のアセスメント ・褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 ・母親になること 母子相互作用 ・母乳育児と看護 4. 新生児期における看護の役割 ・新生児の生理 新生児のアセスメント ・新生児期のケア 5. 対象把握に必要な情報の収集・分析・看護上の課題の明確化 6. 対象に適した援助目標・援助計画の立案・援助の実際 7. 保健・医療・福祉の連携と看護の役割・継続看護の理解 8. 周産期母子が地域で活用できる制度・施策・社会資源の理解 9. 体験した母性看護を通して母性観や父性観、生命観の構築	臨地実習	60	担当教員	病院	
臨地実習	30		保健センター				
事前課題	実習要項を熟読し、必要な内容について自己学習を行う（知識と技術）						
評価計画方法	詳細に関しては実習要項を参照						
テキスト参考図書	・小林泰江他編：ナーシング・グラフィカ①② メディカ出版 ・森 恵美他著：母性看護学各論・母性看護学概論 医学書院 ・病気がみえるvol.10 産科 メディックメディア						
実務歴有	看護師・助産師：病院勤務 16年 看護教員：学校勤務 5年						
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考							